

事務事業名	地域エネルギー活用プロジェクト(油脂酵母)		所属部局	市民部	単位番号	2012- 999002				
			所属課室	環境課	課長名	小笠原良仁				
			所属担当	環境保全・自然エネルギー担当	担当者名	河野慎介				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		19 自然環境の保全と活用		01	一般	04	01	05	090	20
施策		32 自然と共生する地域づくり	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみのみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 24 ~ 29 年度)		法令根拠							
事業の内容・概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 「ふるさと愛プロジェクト」及び「地域活性化総合特区事業」のなかで、酵母を用いてバイオマス資源から油脂を生産する研究を、山梨大学等と連携して実施することにより、市内における未利用農産物などから燃料用油脂(バイオディーゼル燃料)の生産を目指す。			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				手数料 寄附金 6,000						
				計 6,000						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	未利用資源からの再生可能エネルギーの生産に関する調査研究及び実証実験。実験の継続。実験用原材料の調達。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	未利用資源からの再生可能エネルギーの生産に関する調査研究及び実証実験。実験の継続。実験用原材料の調達。			ア協議打合せ	回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	リボミセス酵母菌		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					アリボミセス酵母菌の種類	種類
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	リボミセス酵母菌(430種類)と炭素源(じゃがいもでんぷん・米ぬか・桃、李果汁・ヤーコン・グリセリン)及び温度環境の組合せにより、油脂生産性の高い菌株の選抜を行う。(研究の結果によって見直す。)		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					アスクリーニングの結果	種類
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	未利用バイオマス資源の利用によりCO2排出量が減り温暖化対策が推進される。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					アバイオマス資源の利用により削減されたCO2排出量	t/年

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	4,000	6,170	6,000	5,200	5,200	5,200		
	事業費計(A)	千円	4,000	6,170	6,000	5,200	5,200	5,200		0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	500	500	1,000	1,000	1,000	1,000		
	人件費計(B)	千円	2,276	2,276	4,551	4,551	4,551	4,551		0
	(A)+(B)	千円	6,276	8,446	10,551	9,751	9,751	9,751		0
活動指標	回数		6.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
対象指標	種類		430.0	430.0	430.0	430.0	430.0	430.0		
成果指標	種類		70.0	373.0	373.0	430.0				
上位成果指標	t/年		87.1	87.1	32.0	87.1				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H24年1月、「ふるさと愛プロジェクト」推進協議会のなかで、酵母を用いてバイオマス資源から油脂を生産する研究を、山梨大学等と連携して実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	再生可能資源や再生エネルギーの活用が求められている中で、本市においても遊休農地や未利用・廃棄物系バイオマスを有効利用し地域の活性化につなげる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成24年6月28日 山梨大学と包括的連携協定を締結
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	市施設ヘルスピア白根を貸借したことにより、実験室レベル(1~2L培養・試薬レベル)の炭素源・油脂の物性評価から、小規模タンク生産(90L培養・低利用価値再生可能資源の活用・油脂の抽出・精製)となった。

事務事業名	地域エネルギー活用プロジェクト(油脂酵母)	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	-----------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 総合計画後期基本計画において、自然エネルギーの導入促進は施策の重点目標とされており、政策体系との整合性は取れている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 産学官で役割を定めていることから、市の関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 未利用バイオマス資源活用策の検証であり、地域の資源を地域で活用するための実験であるので、今しばらく継続する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民や事業者が自然エネルギーに関心を寄せており、プロジェクトの展開により一層の成果が期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止した場合は、温暖化防止対策の進展は望めない。温暖化対策は国を挙げての課題であり、市として取組む課題である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 休止・廃止した場合も、苦情などはないと思うが、温暖化に関する意識の低下は免れない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の予算で実施しており削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員で実施しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 温暖化対策に資する事業であり公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	12月より、実証実験が開始となっており、今後の成果が期待される。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 研究プラントでのスムーズな研究の支援 ② 山梨大学、関係企業との連携																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
なし	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑨	コスト削減優先度評価結果	③																	
成果優先度評価結果	⑨																					
コスト削減優先度評価結果	③																					